

1 級原価計算
解答用紙
(その 1)

< ご注意 >
この解答は、株式会社建設経営サービス (KKS) が作成したもので、試験機関による正式な採点結果を保証するものではありません。あくまで解答例としてご利用ください。また、配点及び合格ラインも KKS の予想です。本解答例の著作権は KKS に帰属します。予告なく内容を変更する場合があります。

予想合格ライン 70 点

〔第 1 問〕 解答にあたっては、それぞれ 200 字以内 (句読点含む) で記入すること。

問1 10点

	10	20	25
5	原価の本質には次の 4 つの要件がある。第一は「原価は 、経済価値の消費である」で、経済的対価を必要とする ものを対象とする。第二は「原価は、一定の経営給付に 関連付けられたものである」で、企業の経営活動に関連 したものを対象とする。第三は「原価は、経営目的に関 連したものである」で、一定の財貨の生産販売に関連し たものを対象とする。第四は「原価は、正常的なもので ある」で、偶発的、臨時的なものは原価から排除する。		

得 点	
--------	--

問2 10点

	10	20	25
5	正常配賦法により措置することが適切である。実際配賦 法では工事繁忙期には配賦額が少額となり、工事閑散期 には配賦額が多額になるという現象が起こる。これを正 常配賦法にすることで、月間ではなく、1 年間、場合に よっては 2 ~ 3 年間に共通する配賦率を算定し、同一作 業には、時間当たりを始めとする単位当たりの配賦額を 均一化して配賦するため、操業度変動による配賦額のバ ラツキを排除できる。		

1 級原価計算
解答用紙
(その2)

氏 名		受験番号シール貼付欄
姓	姓をカタカナで記入してください。	受験票から受験番号シールをはがして、ここに貼り付けてください。
名	名をカタカナで記入してください。	シールがない方は下欄に自筆で受験番号を記入してください。

〔第2問〕 10点(各2点)

記号(AまたはB)

1	2	3	4	5
A	B	B	A	A

〔第3問〕

- ① ￥ 10830 記号(AまたはB) A 4点
- ② ￥ 31640 記号(AまたはB) B 3点
- ③ ￥ 40950 記号(AまたはB) B 3点
- ④ ￥ 35100 記号(AまたはB) B 4点

〔第4問〕

- (1) ￥ 1111950 6点
- (2) 第一工程 ￥ 1293 5点
- 第二工程 ￥ 1765 5点

〔第 5 問〕

問 1 28点 (各4点)

完成工事原価報告書	
自 平成×1年4月 1日 至 平成×2年3月31日	
群馬建設工業株式会社 (単位：円)	
I. 材料費	1449470
II. 労務費	762590
(うち労務外注費	292170)
III. 外注費	718340
IV. 経 費	583610
(うち人件費	375960)
V. 原価差異	17500
完成工事原価	3531510

問 2 4点

¥ 1125390

問 3 8点 (各4点)

完成工事原価への配分額 ¥ 17500

未成工事原価への配分額 ¥ 5000